

2023 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科	科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	人間関係論	必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	1学年	学期及び曜時限	通年	教室名	
担 当 教 員	木崎一憲	実務経験と その関連資格	心理カウンセラー歴 38年		

《授業科目における学習内容》

自分自身を実験やテストを通じ客観的に観察し、心理テクニックを用いて人間関係をスムーズに構築する

《成績評価の方法と基準》

学習を通して学び得た事をどのように活かしていくかを論文作成し、その精査をして採点する

《使用教材(教科書)及び参考図書》

領域が広いので教科書は使用しない。参考図書として「7つの習慣」「行動心理学」「人間関係の心理学」「やわらかな人間関係」「色彩心理」「バウムテストの解釈」等

《授業外における学習方法》

自分の興味のある内容についての書物を講師に質問して、図書館等で調べること

《履修に当たっての留意点》

自分から積極的に参加し、実体験する意欲

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	授業を通じての到達目標	視覚からの影響について理解を深める	実物投影機	機会ある度に日常での観察
	各コマにおける授業予定	实物投影機を使った視覚から得られる情報の確認		
第2回	授業を通じての到達目標	プロキセミックスによる実感とその確認	実物投影機	機会ある度に日常での観察
	各コマにおける授業予定	人間の人と接する距離とその認識について修得		
第3回	授業を通じての到達目標	人格形成の為のパラダイムシフトの利用	実物投影機	機会ある度に日常での観察
	各コマにおける授業予定	最終目的達成の為の心の持ち方		
第4回	授業を通じての到達目標	人間の5段階欲求を理解し利用する	実物投影機	機会ある度に日常での観察
	各コマにおける授業予定	マズローの欲求5段階説を図示し理解させる		
第5回	授業を通じての到達目標	ノンバーバルコミュニケーションの理解	実物投影機	機会ある度に日常での観察
	各コマにおける授業予定	種々の場面に於ける非言語伝達の理解		

授業の方法	内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	授業を通じての到達目標	コッホのバームテストの見識と分析	実物投影機	日常生活や利用できる機会に実施
	各コマにおける授業予定	各人を理解する上でその内面をコッホ等のテストにより分析		
第7回	授業を通じての到達目標	絵画法による人格分析	実物投影機	日常生活や利用できる機会に実施
	各コマにおける授業予定	簡単な絵を書くことで自己及び他人の性格を理解する		
第8回	授業を通じての到達目標	色彩が人に与える影響を理解する	実物投影機	日常生活や利用できる機会に実施
	各コマにおける授業予定	包帯の色が白い事の意味や、子どもが好む色大人が好む色について学習する		
第9回	授業を通じての到達目標	色彩表を用いて自己分析を行う	実物投影機	日常生活や利用できる機会に実施
	各コマにおける授業予定	独自に開発した色彩表を用いて今的心の状況を把握する		
第10回	授業を通じての到達目標	手や足やしぐさによる分析	実物投影機	機会ある度に観察を行って確認する
	各コマにおける授業予定	手や足の動きによって、その人物の心の状態を探す		
第11回	授業を通じての到達目標	ストレスとコーピングを学び	実物投影機	機会ある度に観察を行って確認する
	各コマにおける授業予定	ストレス対処としての各状況に応じたコーピングを学ぶ		
第12回	授業を通じての到達目標	人間の愛についてその種類を学習	実物投影機	興味ある内容について自分なりに図書館等で調べる
	各コマにおける授業予定	愛の種類を学び、その整合性と不整合の組み合せを学ぶ		
第13回	授業を通じての到達目標	DVとストーカーの心理分析	実物投影機	興味ある内容について自分なりに図書館等で調べる
	各コマにおける授業予定	DVやストーカーの心理を学び自分達が被害を受けない様にする		
第14回	授業を通じての到達目標	人間の死についてその死後の概念	実物投影機	興味ある内容について自分なりに図書館等で調べる
	各コマにおける授業予定	人間の死について学術的に整理されたものを学び自分なりの考え方を組み立てる		
第15回	授業を通じての到達目標	国家試験の心理学的アプローチ	実物投影機	興味ある内容について自分なりに図書館等で調べる
	各コマにおける授業予定	データから見た国家試験の分析とその対処法について		